

科目名	施工実習							年度	2025
英語科目名	Construction training							学期	後期
学科・学年	土木・造園科 造園専攻 1 年次	必／選	必	時間数	60	単位数	2	種別※	実習
担当教員	佐藤武久、谷合光男		教員の実務経験		有	実務経験の職種		造園施工（佐藤）、造園施工（谷合）	
【科目の目的】 ・造園の各種講義で学習した内容について実習を通じて確認する。 ・実際に施工を行うことで造園の基本的な技術・技能を習得する。 ・習得した技術・技能を用いてそれぞれの感性を表現する形で作庭を行う。									
【科目の概要】 造園を学ぶ中で知識とともに技術・技能を習得することは将来の造園家にとって非常に重要なことです。 造園というモノづくりの場を通して知識や技術・技能を用いて自分の感性を表現することを目指します。									
【到達目標】 A. 造園における基本的な技術・技能を習得する B. 習得した技術・技能を用いて造園のモジュールを作成する。 C. 自分たちの感性を庭の中に表現する形で作庭を行う。									
【授業の注意点】 刃物の使用や重量物の扱いなど、事故や怪我のないよう十分注意する。 知識にのみとらわれることなく若い感性を表現する。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	基本的な技術・技能を習得し作業の中で応用できる		基本的な技術・技能を使って作業できる		基本的な技術・技能を習得できていない				
到達目標 B	造園のモジュールを作成する中で習得した技術・技能を生かしてオリジナリティーのあるものづくりができる		造園のモジュールを作成する中で習得した技術・技能が使われている		造園のモジュールを作成する中で習得した技術・技能が使われていない				
到達目標 C	技術・技能を生かしながら作庭者の感性が表現された作庭ができる		技術・技能を活用し、表現力のある作庭ができる		表現力が不十分な作庭である				
【教科書】 造園施工必携 日本造園組合連合会									
【参考資料】 とくになし									
【成績の評価方法・評価基準】 実習への取り組み、技術の習得、理解度を総合的に評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		施工実習			年度	2025
英語表記		Construction training			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	ガイダンスと作庭	作庭の理念を学び表現力を試す	1 作庭動画観賞	作庭を行う場合の基本理念に触れる	1	
			2 作庭デザイン	庭のデザインを考える		
			3 庭づくり	デザインを生かして作庭する		
2	石材等の据付け方法	切石や飛石、ごろた石等の据付け方法を学ぶ	1 水系の使い方	水系の正しい設置方法を学ぶ	1	
			2 切石・飛石の据付け	水系や水平器を利用し正しく据え付ける		
			3 自然石の据付け	野面の風合いを生かした据付けを行う		
3	結束方法	シュロ縄を用いた各種結束方法を学ぶ	1 いば結び	いば結びを正しく堅固に結ぶ	2	
			2 飾り結び	飾り結びのやり方やポイントを学習する		
			3 関守石	関守石の結び方やポイントを学習する		
4	花壇設計・デザイン	花壇の設計・デザインをする	1 花壇全体構成	花壇全体のイメージを構築する	2	
			2 花壇外構設計	花壇となる外構部分の設計をする		
			3 花や植物との関係	植栽する植物同士の関係や色の国合わせをデザインする		
5	花壇施工	設計・デザインをもとに花壇をつくる	1 外構部の施工	花壇の外構部分を設計を生かして施工する	2	
			2 植栽	植物の配置や色合いを造園技法を使い植栽する		
			3 花壇の装飾	マルチング素材や添景物を使い全体の構成を考え仕上げる		
6	バンブーフエンス①	加工が容易な竹を利用してフェンスを作成	1 竹垣デザイン	様々な加工が可能な竹の特性を生かしたデザインをする	2	
			2 柱の据付け	フェンスの基本となる柱を正確かつ堅固に据え付ける		
			3 竹の加工	デザインに合わせた部材への加工を行う		
7	バンブーフエンス②	加工が容易な竹を利用してフェンスを作成	1 胴縁取付け	柱をつなぐ横部材を取り付ける	2	
			2 立子取付け	フェンスの用途とデザインの要になる縦部材を取り付ける		
			3 結束	結束方法や材料を工夫して組み上げる		
8	剪定技法	樹木の剪定技術を学ぶ	1 脚立等の使用方法	樹木剪定作業に必要な道具類を安全に使用方法を学ぶ	2	
			2 剪定技術の基本	基本的な剪定技法を習得する		
			3 様々な剪定技法	樹種や樹勢に合わせた剪定技法の違いを把握する		
9	自然素材を使った造園モジュールの作成	土や真砂土といった自然素材を利用し各モジュールを作成する	1 モジュール作成	自然素材の良さや風合いを生かす	2	
10						
11						
13	庭園デザイン	習得した技術・技能を生かしながら各自の感性を取り入れたデザインを考える	1 全体の構成	イメージや表現方法を考え全体像を構成する	2	
			2 素材の選定	アイデアから素材を探す又は、素材からアイデアをもらう		
			3 図面作成	施工に即した形で図面に表現する		
13	庭づくり	各自の感性を表現する庭を、習得した技術や技能を生かして作庭する	1 自由作庭	若い感性と技術・技能のコラボレーションを庭に表現する	2	
14						
15						

評価方法：1. 小テスト、3. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等